

ハンピグレー 再始動！！

JSC 貿易部のインド通信

皆様こんにちは！

今月のインドメルマガは、平井が担当させていただきます。

さて今年に入り、私のインド行き二回は、全て e-visa で入国しておりました。e-visa とは、インド大使館のホームページにアクセスし、必要事項を記入し申請すると、登録したメールアドレスにビザ発行の返信が来るという非常に便利な制度です。手続き料金も 2500 円程度と安めです。以前はビジネスビザを申請してインドに出張していたのですが、ビザの期限が切れた後、領事館に行く手間と時間を省く為に一回使うと、とても便利でした。

そういう訳で、今回も出発数日前に e-visa を申請すると…

次の日に早速メールの返信が来ました。やっぱり便利だな～と思いチェックすると…….

エーッ！

Rejected (却下)

なんと、インド領事館からビザ発行を却下されました！

メール文面には **「あなたは e-visa をすでに年 2 回使っています。ビジネスビザを取得しなければなりません。」**

年間 2 回の制約なんて、書いてなかったし。突然言われても…

今からビジネスビザを申請するのは、書類も揃ってないし、時間も無いし…

そうだ！！

インドには「アライバルビザ」なるものがあるのを思い出しました。インド現地に到着してからビザ申請する制度ですが、世界で日本人だけに与えられたビザです。金額は日本円で 4000 円程です。2014 年に一旦は廃止されたのですが、2015 年 12 月に行われた安倍首相とモディ首相との日印首脳会談後に、ビジネスや観光など様々な交流促進の為、2016 年 3 月 1 日から再開されました。

アライバルビザ取得の条件は 8 つあります。

- 1.日本国籍であること。
- 2.パスポート有効期間が 6 ヶ月以上あること。
- 3.インド国内に居住や仕事をしていないこと。
- 4.帰国便の航空券を所持していること。
- 5.インド滞在中の費用が十分にあること。
- 6.インド大使館から好ましくないと判断されていないこと。
- 7.本人と本人の両親や祖父母がパキスタン生まれの場合や、パキスタンに居住している場合は取得不可。
- 8.外交官あるいは公用パスポート所持者は取得不可。

1～5 と 7・8 は当然問題ありませんが、6 の**インド大使館から好ましくない**と判断されていないこと。なんだ～これっ……？ 基準もわからないしインド人担当者の独断的な判断でしょうか？…(͡° ͜°)

やや不安な気持ちで朝、家を出て出発し、関西空港～バンコク経由で、今回も現地時間、0：00 の真夜中のチェンナイ空港に着きました。

アライバルビザのゲートに行くと…



だ、誰もいない～！

やばい～……

カウンターにも誰も居ません。暫くウロウロすると、ようやく係の人が一人だけ来ました。事前にプリントアウトしたアライバルビザの申請書類を見せると、「**カムカム！**」と命令口調で個室に連れて行かれました。

暫く放置され、深夜の空港の個室のソファで一人待ちます。

ドキドキ…

ようやく、係の人が来て、パスポートにビザの判子を押してくれました

よかった～

手続きの時間とビザ発行までドキドキ・ハラハラ感はありますが、日本で事前
手続き不要のアライバルビザは、とても便利です！！

世界唯一のインドでの日本人の特権です。皆様もインド入国に際しては、
お使いくださいませ！

**ただし、「あなたは、インド入国に好ましくない人です」って判断
されたらアウトですが…（笑）**

そんなこんなで、なんとか入国してチェンナイでの仕事を終え、バンガロール
へ移動、さらに車で北上し「ハンピ」という場所へ行きました。

皆さん、「ハンピ」と言う地名を聞いた事がありますでしょうか？

この「ハンピ」というエリアは、14～16世紀に南インド一帯で栄えた強大な
ビジャヤナガラ王国の首都だったところです。「ビジャヤナガラ」の意味は

「勝利の都」なんだそうです。なんとも、希望に満ちた頼もしい名前です。

付近にはビジャヤナガラ王国の遺跡や寺院があり、1986年に世界遺産に
も登録されています。ハンピ周辺のホテルには西洋人も多数宿泊。有名な観光
地でもあります。

↓これは遺跡の写真ではありませんが、ハンピ周辺には誰が積上げたわけでもない自然にできた巨大な岩石群があちこちにあります。日本では目にすることのない、本当に不思議な感覚に包まれる風景です。



さてこの度、そんな歴史あるエリアで採掘されている石を仕入れて参りました。

「勝利の都」からの贈り物です！！ 二十年以上前から採掘されていた「ハンピグレー」ですが、別名の「ZMF」の名前の方が有名かもしれません。あの「アーバングレー」の丁場もすぐ近くです。

近年は採掘許可書がおりず、数年停止していましたが、ようやく許可がおり数ヶ月前から採掘を再開しました。このハンピグレーは、銀河のような目立つ白玉はございません。



現地ですべての素材を検品。厳選した良い品質の原石だけを買付しました。

この深みの有る青み、本当に綺麗です。

中国の原石商社を通さずに、当社が直接インドから仕入れて、中国の協力工場
で加工しますので、比較のお求め安い価格でのご提供が可能かと思います。

7 月中には勝利の都 (笑) からインド洋を航海し中国大陸に上陸予定ですので、お楽しみにしててくださいませ～！

では、これから、暑さも本格的になって来ますが、どうぞご自愛くださいませ。
最後まで読んでいただき、ありがとうございました。

2018/07/01 平井